DIE ASSEMBLY EXCHANGING APPARATUS OF PRESS BRAKE

CLAIM FOR A PATENT

1. A die assembly exchanging apparatus of a press brake, wherein a holding mechanism 4 for attachably/detachably holding a punch 43 is provided in an upper beam 3, and a block 19 is provided in the upper beam 3 via a rise and fall mechanism E, and a swing arm 15 is reversibly provided in the block 19, and holding parts 17a, 17b for attachably/detachably holding the punch 43 are provided on both end sides of the swing arm 15, and a reverse mechanism A for reversing the swing arm 15 is provided in the block 19.

BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS

Fig. 1 is a front view of a press brake comprising a die assembly exchanging apparatus according to an embodiment of the present invention; Fig. 2 is a side view thereof; and Fig. 3 is a vertically cross-sectional view of a holding mechanism on a side of an upper beam.

3: upper beam

4: holding mechanism

19: block

15: swing beam

A: reverse mechanism

19日本国特許庁(JP)

① 特許出願公告

許 公 報 (B2) 12 特

昭57-37408

(5) Int.Cl.3 B 21 D 5/02 識別記号

庁内整理番号 7454 - 4 E

24.44公告 昭和57年(1982) 8月10日

発明の数 1

(全3頁)

図プレスブレーキの金型交換装置

②特

願 昭51-73095

22出

願 昭51(1976)6月23日

63公

開 昭52-156161

④昭52 (1977)12月26日

⑫発 明 者 水島亮

小松市青路町 131

切出 願 人 株式会社小松製作所

四代 理 人 弁理士 米原正章

外1名

の特許請求の範囲

1 アツパービーム 3 にパンチ 4 3 を係脱可能に 把持する把持機構4を設け、アツパービーム3に15ーム15の軸16に設けたギャに嚙合していて、 プロツク19を昇降機構 Eを介して設け、ブロツ ク19にスイングアーム15を反転可能に設け、 スイングアーム15の両端側にパンチ43を係脱 可能に把持する把持部17a,17bを設け、ブ 反転機構Aを設けたことを特徴とするプレスプレ ーキの金型交換装置。

発明の詳細な説明

本発明はプレスブレーキの金型交換装置に関す るものであつて、その目的とするところはパンチ 25 種類の異なるダイス 23 が放射状に固設してある。 の自動交換が可能になり、曲げ作業の高効率化を 計り得るプレスプレーキの金型交換装置を提供す ることにある。

以下、本発明を図面を参照して説明する。図面 中1は本体フレームであり、本体フレーム1の口 30 らで昇降機構Bを構成している。 部2の上方にはアツパーピーム3が上下動可能に 設けてあり、アツパーピーム3は本体フレーム1 に設けられた駆動機構により上下動作するもので ある。このアツパービーム3の下端部には把持機 構4が備えてある。この把持機構4はアツパービ 35 Cを構成している。 ーム 3 に固設されたシリンダ 5 を備えており、こ のシリンダ 5のピストン 6 に連結されたロツド 7

はアツパービーム3の孔8を貫通していてロツド 7には把持体9が固定してある。シリンダ5のピ ストン6に連結された他のロツド10にはばね受 座体11が固設してあり、ばね受座体11とシリ

5 ンダうとの間にばね12が介装してある。

アツパービーム3には昇降機構Eのシリンダ 13が固設してあり、このシリンダ13のロツド 14にはプロツク19が固設してあり、プロツク 19にはスイングアーム15の軸16が回転可能 東京都港区赤坂2丁目3番6号 10 に取付けてある。スイングアーム15の両端側に は把持部17a,17bが設けてある。

> 前記プロツク19には反転用シリンダ20が固 設してあり、反転用シリンダ 20のロツドにはラ ツクが形成してあり、該ラツクは前記スイングア 反転作動機構Aを構成している。

本体フレーム1の口部3の下方にはロアビーム 18が固設してある。ロアビーム18の上端部に は受台18 aが固設してあり、受台18 aにはガ ロツク19にスイングアーム15の反転を行なう 20 イド孔部19 a が形成してあり、ガイド孔部19 a にはガイド杆20 aが摺動可能に挿入してある。 ガイド杆20aにはホルダ受体21が固設してあ り、ホルダ受体21には多角形状のホルダ22が 回転可能に設けてある。ホルダ22には複数個の

> 前記受台18aには昇降用シリンダ24が固設 してあり、この昇降用シリンダ24のロツド25 にはくさび26が固定してあり、くさび26はホ ルダ22の軸部27の下面側に接していて、これ

前記受台18aには反転用シリンダ28が固設 してあり、反転用シリンダ28のロツドにはラツ クが形成してあり、ラツクは前記ホルダ22の軸 部27のギヤに嚙合しており、これらで反転機構

前記本体フレーム 1 には前後方向にガイド杆 29が取付けてあり、ガイド杆29にはプロツク

30が移動可能に設けてあり、このブロツク30 には左右方向に移動可能にスライド31が設けて あり、スライド31にはストツパ32が前後方向 に移動可能に且つ係止可能に設けてある。

テイング装置Dは本体フレーム 1 に回転可能に支 承された螺子杆33を備えており、この螺子杆 33にローテイングシリンダ34のナツト部材が 螺合してある。本体フレーム 1 にはプラケツト 36の出力軸端のスプロケット37と螺子杆33 端部のスプロケツト38とにチェーン39が掛け てある。ローテイングシリンダ34のロツド40 には把持機構 41 が取付けてある。

であり、架台42には複数本の種類の異なるパン チ43が載せてある。

次に作動について説明する。

ローテイングシリンダ34を作動してこれの把 モータ36の駆動によりローテイングシリンダ 34を移動し、再びローテイングシリンダ34を 作動してパンチ43をスイングアーム15の把持 部17bの位置まで搬送しておく。

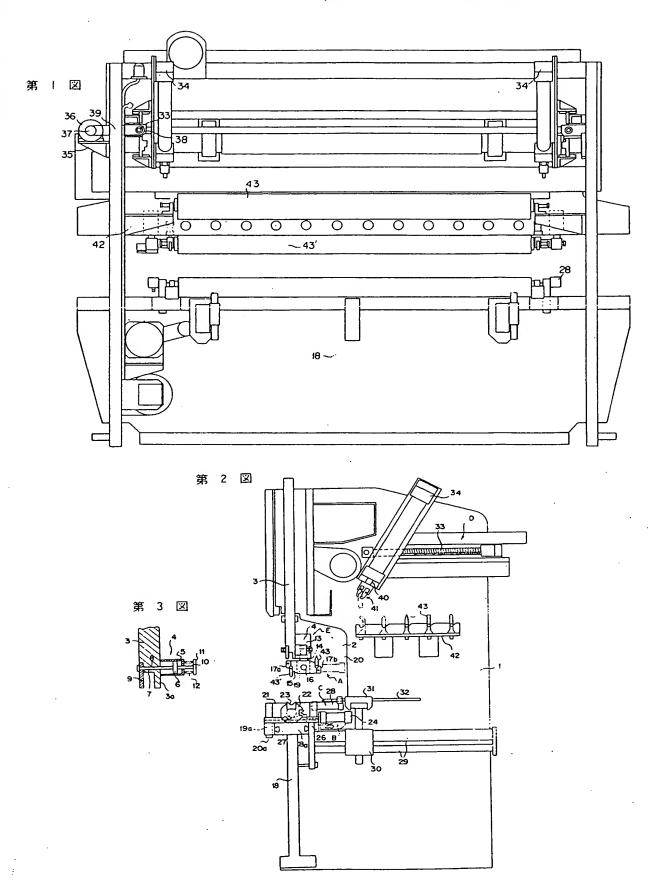
パンチ43'で曲げ加工終了後、スイングアーム **15**の一方の把持部**17**aでパンチ**43**′をつか み、また他方の把持部17bでパンチ43をつか む。次にシリンダ5を作動してばね12に抗して る。次にシリンダ13を作動してスイングアーム 15を下降し、反転シリンダ20を作動してラツ クとギヤを介してスイングアーム 15を反転する。 そして、シリンダ13を作動してスイングアー

ム15を上昇し、パンチ43をアツパービーム3 の把持機構 4 の把持体 9 , 3 a 間に挿入し、これ らのシリンダ5の作動圧を抜くことにより、ばね 12により把持体9をしてパンチ43を把持する。 図面中Dはローテイング装置であり、このロー 5 次にローテイングシリンダ 3 4 の把持機構 4 1 に よりパンチ43′を スイングアーム15の把持部 17 aより外し、ローテイング装置Dの作動によ り、パンチ43'を架台42に載せる。

この一連の作動により、パンチ43,4335を介してモータ36が固設してあり、モータ 10 自動的に交換される。またダイス23の交換の場 合にはまずシリンダ24を作動してくさび26を 軸部27下方にさし込み、ホルダ22をガイド杆 20 a の案内で上昇し、次に反転用シリンダ 28 を作動し、ラツクギヤを介してホルダ 2 2を反転 図面中42は本体フレーム1に固設された架台 15 し、上部に所定のダイス23を位置させる。次に シリンダ24を作動してホルダ22を下降する。 本発明は以上詳述したようになり、アツパービ ーム 3はパンチ 4 3を係脱可能に把持する把持機 構4を設け、アツパービーム3にプロツク19を 持機構 4 1 で架台 4 2 上のパンチ 4 3 をつかみ、 20 昇降機構 E を介して設け、プロツク 1 9 にスイン グアーム 15を反転可能に設け、スイングアーム **15**の両端側にパンチ **43**を係脱可能に把持する 把持部17a,17bを設け、プロツク19にス イングアーム**15**の反転を行なう反転機構Aを設 アツパービーム3の把持機構4に取付けられた25けたから、パンチの自動交換を容易に行なうこと ができて曲げ作業の高効率化を計ることができる。 図面の簡単な説明

第1図は本発明一実施例の金型交換装置を備え たプレスブレーキの正面図、第2図は同側面図、 ロツド7を移動し、パンチ43′の 把持を解除す 30 第3図はアツピービーム側の把持機構の縦断面図 である。

> 3はアツパービーム、4は把持機構、19はブ ロツク、15はスイングビーム、Aは反転機構。



BEST AVAILABLE COPY